

COLORS ファッションと色彩

- VIKTOR&ROLF&KCI -



©The Kyoto Costume Institute, photo by Naoya Hatakeyama

京都展

会期:2004年4月29日~6月20日
会場:京都国立近代美術館
主催:京都国立近代美術館
京都服飾文化研究財団
キュレーション:河本信治(京都国立近代美術館)
深井晃子(京都服飾文化研究財団)
デビッド・エリオット(森美術館)
ゲスト・キュレーター:ヴィクター & ロルフ
(ファッション・デザイナー)

東京展

会期:2004年8月24日~1999年12月5日
会場:森美術館
主催:森美術館
京都服飾文化研究財団
キュレーション:河本信治(京都国立近代美術館)
深井晃子(京都服飾文化研究財団)
デビッド・エリオット(森美術館)
ゲスト・キュレーター:ヴィクター & ロルフ
(ファッション・デザイナー)



©The Kyoto Costume Institute, photo by Naoya Hatakeyama

概要

17世紀から現代までの服飾を色彩という要素に還元して「黒」「マルチカラー」「赤/黄」「青」「白」の5つのセクションで会場構成した本展は、作品が持つ特徴をより鮮明にし、色彩が伝える強いメッセージを浮かび上がらせました。

身体を表層を彩る色彩に、私たちは複雑な意味を与え、様々な思いを寄せ、美を見続けてきました。20世紀まではフォルムに特徴があった服飾は、21世紀、フォルムは必ずしも明確な特徴をみせず、「色」が際立って浮上し始めています。本展は、ゲスト・キュレーターにVIKTOR & ROLFを迎えました。彼らはアートとファッションの境界を揺るがす作品を次々と発表し、世界各地の現代美術の展覧会へ最も頻繁に参加を要請されるデザイナー。本展は、色彩の持つ根源的な魅力、楽しさ、そして力強さを最大限に引き出しました。

出展内容

衣装： 87点
映像： 5点
出展品総数： 92点

展示:

ヴィクター&ロルフの5つのコレクション・ショーの映像を核に、主にKCIの収蔵品から選んだ17世紀から現代までの服を展示。黒、マルチカラー、青、赤と黄、白の5つの主題色によるセクションで会場を構成しました。